

「家がいいね」 第150号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2016. 11. 1

今月も、研修医の同行をお願いします。

2002年の開院以来、左表のように109名の医療関係者に在宅医療研修を勧め、皆さまには自宅への訪問診療にご協力をお願いしてきました。見学者に「家がいいね」という現場を経験して、心に刻んでいただける、貴重な時間だと思います。

	学生実習		研修医	
	医学5年	看護3年	伊勢病院	三重大学
2003 平成 15 年	11			
2004 平成 16 年				
2005 平成 17 年				
2006 平成 18 年				
2007 平成 19 年			5	
2008 平成 20 年				
2009 平成 21 年				
2010 平成 22 年			2	
2011 平成 23 年			1	制度移行
2012 平成 24 年		18		1
2013 平成 25 年		18		3
2014 平成 26 年		24		2
2015 平成 27 年		19		4
2016 平成 28 年				1
小計	11	79	8	11

表の説明をしておきましょう。医学部5年生は感性フレッシュでしたが毎月2週間の滞在では、開院間もない小さな診療所には負担が重く、大学教育で在宅の講義も組まれないので次年度からは返上しました。看護学生は2名ずつ半日、松阪の看護学校の求めに応じました。伊勢病院の研修医依頼期間は、2週間でした。三重大に研修体制がまとめられてから、伊勢病院研修医も含め1か月の日程で、毎年希望数に応じてきました。表以外にも、個人が見学を希望される場合には、応じており、実際に開業医や勤務医、看護・介護関係者などが見学をされました。同行見学は在宅医や訪問看護師へ応募等の直接の結果に結びついておらず、まだ理解者を広める程度の影響に止まっていると思っています。しかし在宅の現場は見えにくいものですから、同行活動は焦らず辛抱強く継続したいと思います。今後ともご協力を。

これらは、あなたの役に立っていますか？

診察室は下の写真のような配置です。顔を見合わせ、電子カルテも各種資料も、血圧計の測定値も一緒に確認しつつ、相談の場です。その過程で処方する薬も、飲み心地や効果の実感など、当事者である患者さんの気持ちを確かめつつ進めています。「やはり治癒力を確認するのは、あなたの身体と心です」と私は思います。ちなみに座る椅子も同じにしています。在宅でも同じ配置（3角形の目線）で、当事者である患者さんやご家族と、気持ちを交しながら、困ったことや課題に取り組んでいくつもりです。



休診日のお知らせ

☆ホームホスピス
全国研修・大阪に参加
12月3日(土)
12月4日(日) 休診
「とも暮らし」の意味
暮らしの中で
「死にゆく」こと

☆年末年始のお休み
12月28日(水)
1月3日(火)



この期間中も在宅の方々には、連絡対応しますので、ご安心ください。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
ホームページ <http://isezaitaku.com>

↑バックナンバーはここで閲覧可